

令和元年度 第1回村上市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日時：令和元年10月23日（水）

：14：45～16：30

会場：村上市役所 第5会議室（5F）

1 開 会 ～リフレッシュタイム～

みんなでやろう、笑顔で楽しく！「むらかみ体操」

2 あいさつ 西村会長

3 議 題

（1）令和元年度事業経過報告について（資料1） 田中センター長

*質疑応答・意見交換

秋山委員：一般介護予防事業水中運動教室の参加者数について。水着の準備など参加ハードルが高いのでは。

包括担当：参加登録者は20数名。毎回16～17名の参加あるが、後期高齢者は少ない（リピーター多い・知り合いの紹介で参加）。参加者は「膝痛が強いから」等の理由や目的を持って参加している。送迎はしていない。

富樫委員：今後の市民後見人養成の具体的な取り組みについて。

包括担当：7月佐渡市視察研修後、ワーキングチーム（9名体制）で詳細を検討中。市民後見人養成カリキュラムは50H（10日間）となっておりハードル高いが来年度初めに希望者を募集予定。

山下委員：40代で脳血管障害によるリハビリ利用者が近年多くなっている。このようなケースでは通院の移動手段や集いの場所がないことが課題となっている。

：最近の傾向として要介護認定調査で家族の意向が大きく反映され、対象者の状態以上に介護度が高くなっている。

鈴木委員：近年は軽介護度者や難病者などの訪問看護利用者が増加している。今後もPRしていきたい。

野澤委員：包括のさまざまな取り組みを聞かせてもらった。今後も利用者が継続参加できるように担当者にはお願いしたい。

富樫委員：11月10日在宅医療普及講演会の寸劇を出前講座メニューに盛り込んでもらえると小団体でも活用できる。

包括担当：高齢者には良い内容である。シナリオは決まっているので、今後検討していきたい。

(2) 各支所活動状況報告について（資料2） 各地区担当職員

*質疑応答・意見交換

西村会長：村上地区第2層協議体の具体的な取り組みについて。

包括担当：村上地区では区長や民生委員を対象に支え合いの取り組みについて投げかけているが、まだ具体的な取り組みには結びついていない。

土岐委員：一般介護予防事業元気応援C卒業生の会が山北地区で開催されていないことについて。

包括担当：山北地区では他地区に比べ、教室終了後に運動継続を希望する参加者が少なく、卒業生の会が実施できる人数に至っていない。希望者には1年間隔を置いて元気応援Cへ継続参加してもらっている。

遠山委員：朝日地区では地域が広いので介護予防教室送迎が大変であるとのことだが、他の地区の状況について。

包括回答：荒川地区は地理的に利便性が良いが、神林地区や山北地区でも送迎については課題がある。村上地区は自主参加（送迎なし）の事業が多い。

4 その他

5 閉会

中山副会長：笹平の茶の間を毎月1回20日に開催しているが、今月は13名の参加があった。他の茶の間に工夫していることがあれば教えてほしい。

包括担当：高根の茶の間は、開催日を毎回土曜日としたことで、学校が休みの子供たちも参加できるようになった。